

「逸見賞」授与式などを開催



安藤 会長

会」を開催した。

逸見賞は同協会の活動や検査業界への貢献度の高い人物を表彰するもの。長年にわたり会長を務め、業界発展に尽力した故 逸見俊一氏（検査サービス）にちなんで命名・創設された。

CIW検査業協会（会長 安藤純一・ジャスト会長）は1日に東京・大手町の『東京會館レベル21』で「令和4年度 逸見賞授与式」「同 東京都鉄骨溶接部検査機関連登録書授与式」「2022年度 忘年懇親

会」を開催した。逸見賞は同協会の活動や検査業界への貢献度の高い人物を表彰するもの。長年にわたり会長を務め、業界発展に尽力した故 逸見俊一氏（検査サービス）にちなんで命名・創設された。

忘年懇親会では、安藤会長があいさつで、次の4点について述べた。①製鋼会社の関連企業での不正事案を例示し、間違いのない検査を行い、虚偽の報告をしないことを徹底②働き方改

革による実質週休2日制実現にともなう単価20%アップの必要性③認定・登録制度で何が必要なのか、関係団体等へ問いかけていく④J I S Z 2305に基づく資格試験受験要件の「経験期間」の定義を引き続き確認していきたい。

なお、同協会は今年10月に創立40周年を迎えたが、コロナの状況や、35周年の際に記念行事等を実施したことを踏まえて特別な行事等は行わず、今回の忘年懇親会で懇親、慰労、意見交換などを行うこととした。

会員に向け

「不正検査撲滅」文書

CIW検査業協会（会長 安藤純一・ジャスト会長）は2日付・安藤会長名で、会員向け文書「不正検査の撲滅に向けた取組へのご理解とご協力をお願い」を出した。

他業界などで不正検査が明らかになったことを受け、

同協会では「倫理理事会のリーダーシップの下で、不正検査の撲滅に向けた取り組みを強化しており、プロジェクト会議ではコンプライアンス遵守の重要性に関わる講演会を実施するなど、業界の健全な発展に努力している」とし、会員へ理解と不正検査撲滅に向けた協力を呼びかけている。